

SHOKUNIN

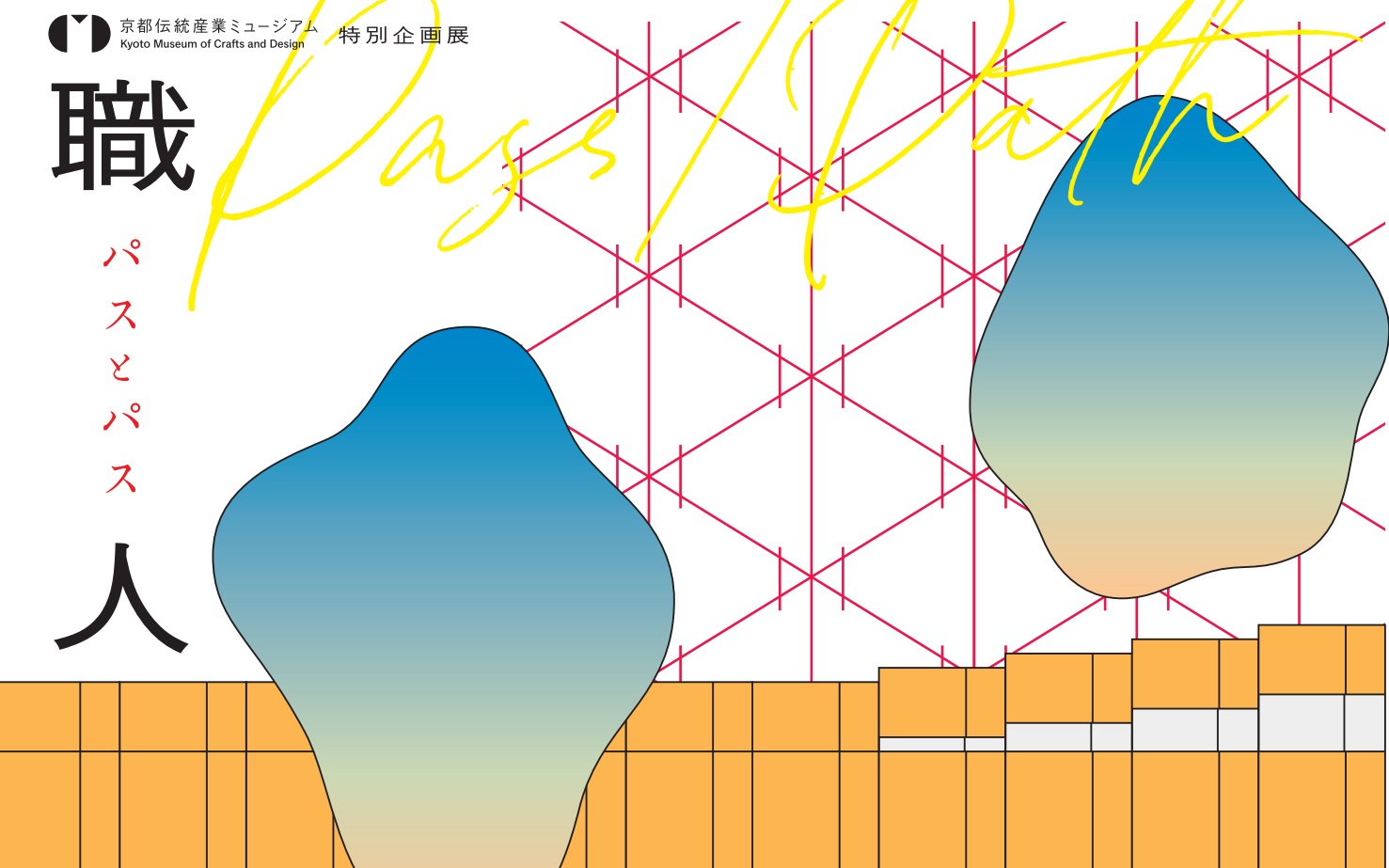
京都伝統産業ミュージアム 特別企画展
Kyoto Museum of Crafts and Design

職

パスとパス

人

Pages of Craft



観覧料

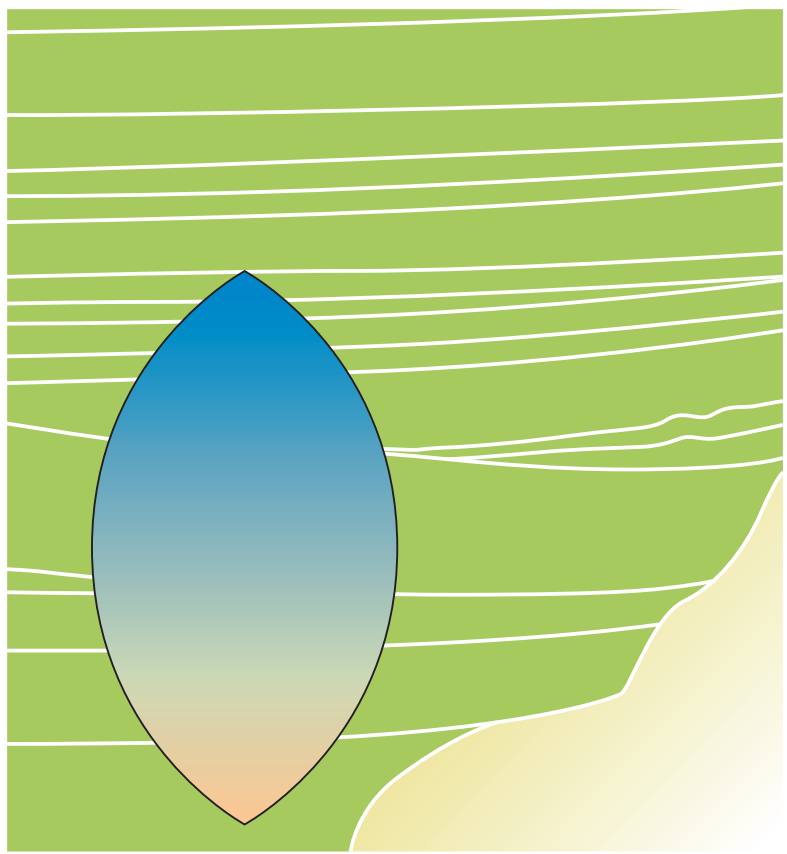
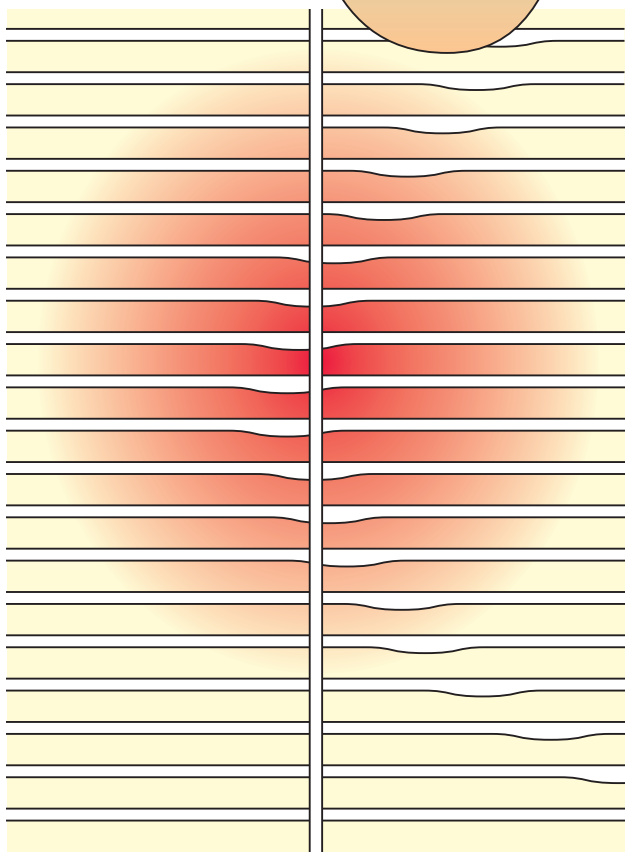
800円 (18歳以下無料)

開館時間

9時～17時 (入館は16時半まで)

休館日

11月29日、12月21日、29日～1月3日



2021 11.6[±]—2022 1.23^㊿

職

パスとパス

人

SHOKUNIN

京都伝統産業ミュージアムでは、
2021年度特別企画展「SHOKUNIN Pass/Path」を開催します。
本展では、陶芸、提灯、茶筒、木桶、金網と分野の違う5つの工房が、
それぞれに引き継いできた技・思想・美意識の軌跡を辿ります。

SHOKUNIN Pass/Path

手渡し続けることが道となる。

工芸の世界は、代々引き継がれてきた技を伝承する。
親から子へ、あるいは師から弟子へ、
古くは1000年以上も途切れることなく技を繋いできた。
代々使用される道具や型、そこに宿る精神、
変わらぬことの大切さ、変えることの意味、手渡された言葉、哲学……

時には跳ね、分化しまた繋がる。

職人が手から手へ引き継いできたものの「軌跡」、それが工芸である。

5つの工房の職人たちが代を重ねて引き継いできたもの、
あるいはそれを超えて伝承されてきたものについて考えました。

“道を作ろうとして歩いてきたわけではない、
その瞬間を懸命にものを作り出し次に託してきた。
それらを繋いだ軌跡が道となるのだ。”

そして、手渡し続けてきたものの軌跡を、
それぞれの工房の視点で表現します。

“創業当時から変わらぬものたちを中心に生まれる心地よいゆらぎ”
“素材を探求する中で見つけた様々な形の表現”
“代々の個性が重なることで見えてくる工房としての個性”
“網の目が重なるようなモノづくりと工房の在り方との連動性”
“工房での分業が生み出す緊張感とやさしさ”

職人の工房では様々なもの・ことが日常的に繰り返されています。
それぞれの職人たちが手渡し続けてきた軌跡の数々をぜひお楽しみください。



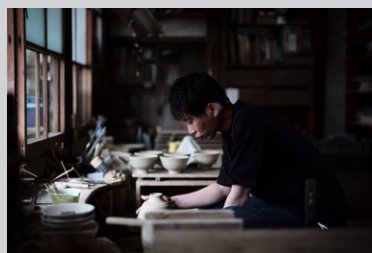
小嶋商店 | 小嶋 俊・小嶋 諒



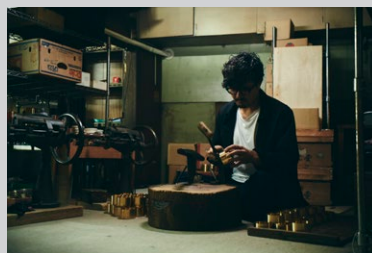
金網つじ | 辻 徹



中川木工芸 | 中川 周士



朝日焼 | 松林 豊斎



開化堂 | 八木 隆裕

2021 11.6[±] - 2022 1.23[◎]

観覧料 | 800円 (18歳以下無料) 開館時間 | 9時~17時 (入館は16時半まで) 休館日 | 11月29日、12月21日、29日~1月3日

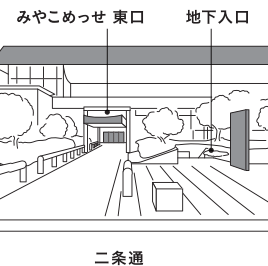
キュレーター：中川 周士、八木 隆裕 アートディレクター：森田 明宏

主催：株式会社 京都産業振興センター 共催：京都市、「KYOTO KOUGEI WEEK」実行委員会 協力：京都精華大学 伝統産業イノベーションセンター
令和3年度 文化庁 国際文化芸術発信拠点形成事業 ※社会状況によって、開催内容を変更することがあります。予めご了承ください。



●地下1階へのアクセス

二条通から地下入口への階段を降りるか、東口から入り館内で地下へ降りてください。



京都伝統産業ミュージアム Kyoto Museum of Crafts and Design

606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町 9-1
京都市勤業館みやこめっせ 地下1階
Tel: 075-762-2670 / Fax: 075-751-1692
Mail: mocad@miyakomesse.jp
KyotoMOCAD @ kyotomuseumofcraftsanddesign

開館時間 9:00-17:00 (入館は16:30まで) <https://kmtc.jp/>

アクセス ○東山駅からは地下鉄東西線「東山駅」より徒歩約8分○京都駅から=5系統、100系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車/206系統「東山二条・岡崎公園口」下車○四条京阪からは46系統「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車/31、201、203系統「東山二条・岡崎公園口」下車○四条河原町からは5系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車/32、46系統「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車/31、201、203系統「東山二条・岡崎公園口」下車